

食の生産現場見学概要

群馬農政事務所 地域第二課

- 1 日 時 平成22年2月16日(火) 9時30分～14時00分
- 2 主 催 関東農政局群馬農政事務所 地域第二課
- 3 共 催 太田市
- 4 開催場所 太田市鳥之郷行政センター
群馬県太田市新野町203
- 5 参加者 一般消費者 23名
丸山いちご園 代表 丸山 英征氏
講師栄養士 佐藤 恵子氏
太田市 2名
群馬農政事務所地域第二課

【食育講座をする佐藤氏】

6 概 要

- (1) 食育講座
栄養士 佐藤 恵子氏
- (2) 食事バランスガイドの説明
群馬農政事務所地域第二課
- (3) 地産地消の推進について
太田市 農政部 農業政策課
- (4) いちごの栽培について
丸山いちご園 代表 丸山 英征氏
- (5) 意見交換会
- (6) 丸山氏のいちごハウスの見学と説明



7 意見交換会の概要

【いちご栽培の説明を行う丸山氏】

いちごハウスの中では蜜蜂が受粉の役割を果たしているのに、いちごの花には蜜が無いことには驚きました。
連作障害の予防策として、毎年新しい苗を植え替えることと、田んぼみたいに水を張ったり、ビニールで覆って熱殺菌をし、すべての菌を消滅させることなどの努力があることを知りました。
いちごの病気と害虫の多さに驚きました。



先に肥料を蒔いてから数日後に苗を植えて、その後は強い肥料を蒔かないようにする技術を知り良かったです。

いちごは、1つの苗で3回目まで使用することが分かった。

春先のいちごには甘味がなくなることを知りました。

露地物のいちごが庭にあるのですが、どうしても実ができずに黒くなってしまふのでそれは摘んで取ってしまい、綿棒などで受粉をすることと温かくすることにより実ができることを知って良かったです。

また、黒くなる原因が害虫によることもあることが分かり注意して育てていきたいと思います。

いちごの実が40日かけてなることを初めて知りました。

いちご農家は秋から冬にかけて忙しいと思っていましたが、年間300日以上労働が必要と聞き驚きました。

年末の忙しい時期だと一日15時間以上働くことがあると聞き大変だと思いました。

いちごは土があればどこでも生えてくることを知り栽培してみようと思いました。

【いちごハウス内の様子】



(意見・要望等)

* アンケートより *

私の家の畑でいちごを少し作っているのですが、いつも分からなくて困っていることなど生産者の方にお聞きできて良かったです。

出荷するまでの大変さが分かりました。

いちごができるまでの課程を説明していただき、大変さを知ることができ今後、一粒一粒を食べる時よく味わって食べたいと思います。

いちご作りの大変さが良く分かりました。

色々な作物の事も知りたいです。(太田市のネギ、ほうれん草、大和イモ等)

これからは極力地元の野菜と畜産物を気にとめて買います。

充実した体験でした。

生産者からの直接の声が聞けて良かったです。

長い時間に渡りありがとうございました。

とても楽しい時間をありがとうございました。

非常に参考になりました。楽しい企画をどうもありがとうございました。

今後もこのような企画をよろしく願います。

またこの様な講座を開いていただけたら参加したいと思います。

担当者の方から細かい説明や案内がとても親切で良かった。